

人生五十年

通算 第五十六号
発行 他人の代表
発行責任者 道化童子
発行 日 2016年12月30日
<http://tanin.jp/>

新刊 4人の俺の彼女が寝かせてくれない

今回の新刊はまたラブコメです。
純正のラブコメです。

主人公澤田俊陽は、同級生で友達のアマツ湖麻に告白し、受け入れられて彼女になった。

その翌日、彼は不審な研究者たちに連れ去られた。行った先は「愛妻細胞研究所」それは湖麻の自宅を兼ねた研究所だった。

湖麻を溺愛する彼女の父は、俊陽を脅しにかかることに、湖麻がどうにかなった時のバックアップを作ろうとして、彼女のクローンを三体作ってしまった。

それは記憶すら移すような本格的なもので、全員が自分が本人だと思ってしまうものだった。

が、そのせいで誰が本物だか分からなくなってしまった。それを探ることが出来たなら、湖麻と付き合うことを認める、だが、出来なかったら、細胞研究の粋を尽くして、俊陽を生まれた時から女の子だったように身体を作り変えて、湖麻の親友になつてもらう。と言われ、慌てて本物を探す話です。

が、告白の時に「私は俊陽くんに自分の性格全てを見せていないこれからは見せていきたい」と言われていて、それぞれ性格が異なっていて、そもそも、湖麻ってこんな子だったっけ？ と困る話です。

湖麻は個体を区別するために髪型でニックネームを分けています。

ストレ ストレートの湖麻。女の子同士のえっちな会話のネタにしたいので、俊陽の裸を、特にちんちんを見たいと思っている。

ポニテ ポニーテールの湖麻。実は子供っぽい部分もある自分でも俊陽は嫌ったりしないと思っ、元気で暴走しがちな湖麻。

ツイテ ツインテールの湖麻。本当はわがままで自己中心のだけど、そんな自分でも恋人の俊陽は嫌いに ならないよね？ と少しだけ不安に思っている湖麻。

おさげ おさげの湖麻。いつもの社交的で愛らしい湖麻は作ったもので、本当は気の弱い人見知りな部分を見せている湖麻。

まあ、過去のエピソードやそれぞれのクローンか本物か分からない女の子とのエピソードで、湖麻という女の子と、俊陽がどういう関係か、どう思われて行くかを紐解いていく話です。

今回のイラストは神名あやるさんです。

挿絵もあります。

これが今回は六〇〇円となります。

よろしければ見ていってください。

Webでも

Web小説は、なろうとノクタン、カクヨムにも別PNで連載をしています。

合計で連載中は4作ありますので、探してみてください。

発行物予定

未定	オリジナル	未定
----	-------	----

※他人の代表の情報は <http://tanin.jp/>にて随時お届けしております。

可愛くて、明るくて、気遣いも出来るクラスメートの愛妻瑚麻。
思い切った一世一代の告白をして、
瑚麻は、俺の彼女になってくれた。

4

俺の彼女が
寝かせん
た。



その数日後、瑚麻は4人に増えた。